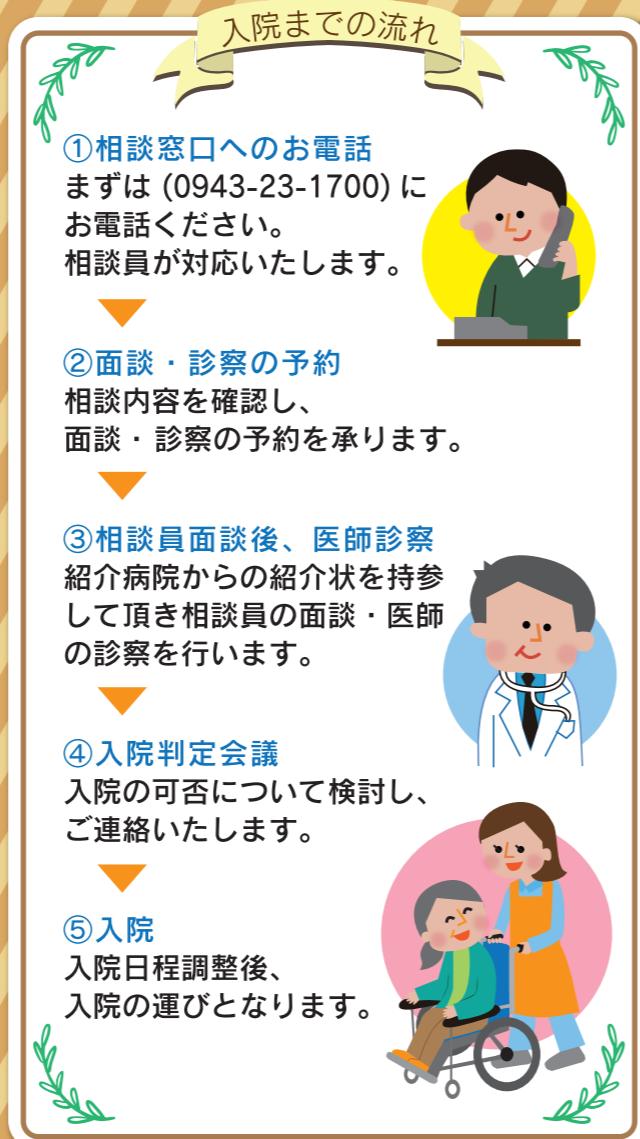


みどりの杜病院入院対象となる患者様

がんと診断された方で、患者様及びご家族がホスピスケアの主旨を理解されていることが必要です。(告知は必ずしも必要ではありません)在宅療養が一時的に難しくなった方や疼痛の緩和治療を考えている方、また、在宅でケアしているご家族の精神的疲労の軽減(家族のレスパイト目的)としても利用できます。

※見学(無料)も受付しております。まずお電話にてご予約をお願いいたします。

※面談の際は面談料を頂いております。



みどりの杜病院広報誌

風MIDORI

～かざみどり～

R.1
11
vol.25



おいしい・簡単 おすすめ レシピ♪ スイートポテト



材料(5~)

- ・さつま芋.....250ml
- ・有塩バター又はマーガリン.....10ml
- ・砂糖.....20g
- ・牛乳.....50ml
- ・塩.....ひとつまみ
- ・卵黄(つや出し用).....1/3個
- ・アルミカップ
(スイートポテト生地を入れる).....5~6個

作り方

- 1 さつま芋は皮をむき2cm幅のいちょう切りにし、水に5分程さらす。耐熱容器に入れラップをかけてレンジで500Wで8分加熱する。(1回目のレンジ加熱で柔らかくならなかつた場合は再度レンジで加熱してください)
- 2 さつま芋が柔らかくなったら熱いうちにマッシュヤーで潰す。
- 3 さつま芋が熱いうちにバター・砂糖・塩を加え、よく潰す。
- 4 俵型に成形し、アルミカップにのせ、表面につや出し用の卵黄を塗る。
- 5 トースターで1000Wで焼き色がつくまで5~10分焼く。



さつま芋は芋類の中で食物繊維の含有量が一番高く、さつま芋に含まれている不溶性食物繊維は腸壁を刺激し、大腸の蠕動運動を促し排便を促してくれるので便秘改善の効果があります。食品を摂取すると血糖値が上昇する度合いを数値化したものを「GI値」といい、GI値が低い食品ほど血糖値が上がりにくいと言われています。GI値はごはん84、うどん80、食パン88などに比べてさつま芋のGI値は55と低く、他の炭水化物に比べて血糖値が上がりにくい食材と言えます。

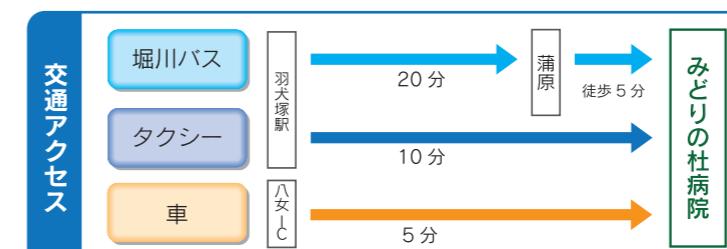
編集後記

令和元年もあとわずか、残り2か月です。カレンダーをみると今年から12月には祝日がないことに気づきました。11月23日の勤労感謝の日が最後の祝日なんですね。皆様は年始に掲げた目標を達成できていますか?私はラストスパートをかけ、あと〇kg痩せたいです! T・K

病院理念 私たちは、あなたと家族が、今という大切なときを自分らしく生きることに寄り添います。

行動指針

- 患者や家族との関わりを、その出会いから大切にします。
- 患者や家族の生活空間に配慮します。
- 緩和ケアが普及し発展することを目指します。
- 地域の方々が安心して過ごせる社会をつくります。



ホームページ、フェイスブックを検索!
みどりの杜病院 検索

ホームページ <http://www.yame-midori.jp>
フェイスブック <http://www.facebook.com/midorinomori.yame>



公立八女総合病院企業団
みどりの杜病院
MIDORI NO MORI
PALLIATIVE CARE & HOSPICE

〒834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

TEL 0943-23-0002 FAX 0943-23-0012

相談専用ダイヤル 0943-23-1700

スタッフ紹介

副院長 高畠 薫代



みどりの杜病院は、この八女の地に2011年にホスピス緩和ケア専門病院として開院し、来年10年目を迎えます。当院の行動指針に、「1、患者や家族との関わりを、その出会いから大切にします。2、患者や家族の生活空間に配慮します。3、緩和ケアが普及し発展することを目指します。4、地域の方が安心して過ごせる社会をつくります。」と掲げてありますように、面談時からご家族の想いに耳を傾け、また独立型の強みを生かして生活空間に配慮し、この地にホスピス緩和ケアを根付かせ、安心して住み慣れた場所で療養することができるよう、という想いで、地域の皆様に必要とされる病院を目指して参りました。また、当院には多くのボランティアの方々に登録頂き、様々な活動を行って頂いております。ボランティアの皆様のお力添えを賜り、患者さん・ご家族からも「有意義な時間が過ごせています」という声も頂戴しております。このように、院内に爽やかな風を届けて頂いているボランティアの皆様のご協力に感謝致します。以前は、最後(最期)に入院する病院というイメージをお持ちの方が多かったように思います。最近は、症状コントロールを目的に入院され、その後、外来通院や訪問診療で住み慣れた場所で穏やかに過ごされている方も増えてまいりました。これからもホスピス緩和ケア専門病院として切れ目のない緩和ケアを提供し、専門病院としての役割を果たしていきたいと考えております。

イベント紹介

夏まつり 8/3

今年で9回目の夏まつりイベントでした。屋台や縁日を病院内に設営し、ボランティア演奏も賑やかな中、バイキング形式の食事を患者さん、ご家族で堪能し楽しまれました。真夏の猛暑を忘れさせる、ひと時となりました。



お月見会 9/6

9月6日にお月見会を開催しました。ボランティアの方に華麗な日本舞踊をご披露いただきました。幼稚園児の女の子の舞も可愛らしく、皆さんの顔にも笑みがこぼれていきました。きなことみたらし団子、黄身時雨もとても好評でした。



第19回みどりの会



7月20日、第19回みどりの会を開催しました。今回植樹する木として『金宝樹』を選びました。残念ながら天候が悪く皆さんと一緒に植樹することはできませんでしたが、ご家族それぞれの思いを共有できたことで和やかな時間を皆さんと過ごせたと思います。



在宅医療推進室より



2019年3月より八女筑後訪問看護ステーション主催で年3回在宅遺族カフェ(ぬくぬくカフェ)を開催しています。同じ経験をした仲間と一緒に、お茶をしながら自宅で過ごした日々や思い出、近況を話しています。ご家族より「最期の数日は眠れることもあったけど、自宅で看取ったことに悔いはない。今は寂しさはあるけど、前向きに生きていきたい。自宅で看取れることをもっと多くの人に知つてもらいたいし、自分の経験を伝えていきたい」と話された言葉が心に残りました。

